

国名	エルサルバドル共和国 (Republic of El Salvador)	
主要な言語	スペイン語 (公式)、Nawat (一部のアメリカンディアンの間で)	
人口学的データ ^{1), 2)}	総人口 (人) ¹⁾	6,568,745人 (2022年推定)
	15歳未満人口割合 (%) ¹⁾	25.83% (2022年推定)
	65歳未満人口割合 (%) ¹⁾	92.39% (2022年推定)
	平均寿命 (歳) ¹⁾	75.37 (2022年推定)
	5歳未満児死亡率 (出生千対) ¹⁾	12.14 (2022年推定)
	妊産婦死亡率 (出生10万対) ¹⁾	46 (2017年)
	中等教育就学率 (%) ²⁾	男性(%)前期83、後期67 女性(%)前期83、後期65
主要な死因 (2020) ³⁾	1位 虚血性心疾患 2位 暴力 3位 交通事故 4位 腎炎・ネフローゼ 5位 呼吸器感染症	
主要な民族 ^{4), 5)}	メスティソ (スペイン系白人と先住民の両方を祖先とする人々) 約84%、先住民約5.6%、ヨーロッパ系約10%	
主要な宗教 (2020) ⁶⁾	カトリックが45%、プロテスタントが35%となっているが、近年では、他の宗教徒も増加傾向にある。	
日本在留外国人 (%) (2021. 12) ⁷⁾	エルサルバドル人160人 (0.005%)	
文化社会的特徴		
1. 特徴的な価値観・行動・生活習慣 ⁸⁾	国民性として勤勉さと忍耐強さで知られており、中米の日本と言われる。スペイン人による植民が行われる前から新大陸の中でも有数の人口密集地帯であり、鉱物資源等もないため住民は生きていくために苦しさに耐え、大変な苦勞をして労働や勉学を行うことを強いられたこと、長年の歴史を通じ度重なる災害に見舞われたため、逆境に耐える忍耐力を備えるに至ったこと、70年代後半より90年代初頭まで続いた内戦の影響等により培われたものと見られている。 入浴はシャワーのみで、お湯に浸かる文化はない。挨拶は積極的に行っており、知り合いでなくとも自然と声を掛け合う。 様々なスポーツが行われているが、最も人気があるのがサッカーである。	
2. 重要な意思決定にあたって留意すること	家族の絆が強い文化である。意思決定は、本人と家族で行われる。	
3. 食文化 ⁹⁾	主食はトルティージャ(とうもろこしを粉にして湿った生地を平らにして、鉄板で焼く)。トルティージャを焼くときに中にチーズなどを入れたものはプブサと呼ばれる。その他、米やプラタノ(甘くないバナナ)もある。とうもろこし文化であり、とうもろこしを使ったタマレスという伝統的な食べ物や、アトルという飲み物もある。 副食は、鶏肉や豚肉はよく食べられ、揚げる、焼く等する。都市部ではファストフード店もありチキンは大人気である。海があり、魚介類も食卓に上ることがある。油で揚げたり、マリネ等にして食べる。 発酵キャベツまたはキャベツ千切りの酢漬けや煮豆(油と塩、にんにくやスパイスで味付け)を好む。その他、チーズや野菜サラダなどのおかずがポピュラーである。スーパーマーケットや市場には豊富な食材が並ぶ。 コーヒーの産地でありコーヒーをよく飲む。オルチャータという飲み物が人気があり、大麦、ココア、米などで作られる。 キリスト教の中の宗派によっては、豚肉やアルコールを口にすることを禁じている。 子どものいる世帯の内、18.6%の世帯が十分な食料を確保できておらず、6人に1人の子どもは慢性的な栄養不良に苦しんでいる。 ⁹⁾	

<p>4. 衛生に関する価値観⁶⁾</p>	<p>一般的にきれい好きであり多くは外出時は身だしなみをきちんと整える。しかし、衛生に関する意識は個人差がある。特に、一般家庭でも食品衛生に関する知識が不足していることや、食料品を販売する販売員の清潔概念が不十分なことがある。食料品店の商品管理・衛生管理などの問題も多く、感染性胃腸炎の原因となる場合がある。⁶⁾</p> <p>また、環境やゴミの問題が課題となっており、一般的にゴミを公共の場に捨てることに抵抗感が少なく、街にはゴミがあちこちに捨てられている。近年は学校でも環境教育を少しずつ行っている。また整理整頓という意識は低く、共同で使用するものを次の人が使いやすいように置く、というような意識は一般的にあまりない。</p>
<p>5. 受療および病人のケアに関する価値観・行動^{9), 10)}</p>	<p>医療のレベルは向上してきており、法律で患者の権利についても定められており、医療者も誠実に対応をしているが、十分なインフォームド・コンセント等、患者の権利がまだ先進国ほどは尊重されていない状況がある。患者は、医療者に従い、任せる。体調を崩した際には、すぐに受診するのではなく、次のような一般的な民間療法を家庭でまずは行う人が多い。一般的な民間療法として、咳止めにハチミツレモンを用いる、尿路感染症に罹った際に臍に少量の塩を入れると尿路が露出し尿の通過が可能になる、しゃっくりを和らげるために3口の水を飲む、などがある。⁹⁾ また、天然植物から作られたお茶やエッセンシャルオイルなどが用いられる。¹⁰⁾ それらを行ってもよくならなければ受診をする。</p> <p>看護師の教育制度として、5年間の大学教育を受ける看護師(リセンシアード)と、4年過程の専修学校教育を受けるテクニコ、高等学校の3年過程の教育を受ける准看護師(テクノロガ)の3種類がある。</p> <p>助産師という資格はなく、分娩介助は医師が行う。産科で働く看護師は2022年の新法律のもと、保健省の方針により、「ドゥーラ」の研修を受け、入院した産婦に寄り添い、産痛緩和マッサージや、アクティブバースの具体的な方法を指導、実施する。研修は、看護師対象で40時間(1週間)であり、内容は分娩体位や産痛緩和マッサージ、エクササイズなどである。日本と違い、産科で働く看護師には男性もいる。その他、母子ケアの有資格者(看護師の資格は無い)が、施設によってはNICU等で搾乳や育児指導等を行う。</p>
<p>6. 妊娠・出産に関する価値観・行動⁹⁾</p>	<p>妊婦健診は地域の保健センターで受けるが、保健センターは入院設備がなく、出産は国公立の病院または私立病院で行う。国公立の病院は出産に費用がかからない。妊婦健診は定期的を受診するが、日本ほど頻回ではない。また、妊婦健診は保健センターにて無料で受けられるが、医療施設から遠方で経済的に恵まれず、交通費が払えないなど、なかなか受診できない場合もある。</p> <p>出産は、以前は伝統的産婆による分娩介助もみられたが、伝統的産婆の高齢化が進み、現在はほぼ施設分娩である。</p> <p>カトリック文化であり、人工妊娠中絶は認められていない。若年妊婦は年々減少しているが他の中米諸国同様に未だ多い状況である。</p> <p>妊娠している人の19.3%(約5人に1人)は、18歳未満である。子どもたちは家庭、学校、コミュニティ内での慢性的な暴力に苦しんでいる。⁹⁾</p>
<p>7. 育児に関する価値観・行動</p>	<p>家族内で協力し合って子どもを育てる。生まれたての新生児を布でぐるぐる巻きにする習慣があり、理由は保温と、赤ちゃんが安心するためである。</p> <p>社会的には暴力や犯罪が蔓延しており、家庭内での子どもの虐待、若者に対する暴力、性暴力が問題となっている。</p>
<p>8. 高齢者に関する価値観・行動</p>	<p>高齢者は家庭内で大事にされる。社会福祉の制度は遅れているが、家族や地域で介護をする文化がある。</p>
<p>9. 終末期・葬儀に関する価値観・行動</p>	<p>一般的に、終末期は家で家族で看取る。葬儀は一般的にカトリックの様式で行われる。土葬である。</p>

<p>10. 本国の医療職・医療サービスに関する特徴^{11), 12)}</p>	<p>エルサルバドルには公的医療施設と民間の医療施設があり、公的医療施設、特に病院は、人手不足で設備が不十分である。技量の低下、医療機器の老朽化及び故障、医薬品不足等もみられ、十分な医療サービスを受けられない。民間医療施設は、診療所、総合病院、および特定の治療を専門とする病院で構成されており、首都サンサルバドルやその他の大都市に集中している。国際基準と同等と見なされるより良い水準の医療サービスを提供する民間の医療提供者もいる。より質の高い医療サービスへのアクセスは収入レベルに直接関係している。国内では受けられない複雑な心臓治療などは米国など海外に行き受ける場合もある。</p> <p>保険制度には公的健康保険と民間健康保険がある。公的保険制度には2つのシステムがあり、1つは社会保障ネットワーク (ISSS) で、政府が国内の従業員と雇用主に提供する主要な制度である。一方、ISSSに入れない国民に国民保健サービス (NHS) を提供しており、人口の78%に提供している。基本は無料で公的医療施設を利用できる。しかし開発が不十分で資金も不足している。その他、教職は教育省の保険制度がある。民間医療保険には、国内の医療施設をカバーする地域の健康保険と、国外のほぼすべての国で保証を受けられる国際健康保険がある。一般的な国民が加入するというよりは、在住の外国人が加入している。</p>
<p>11. その他の保健医療に関する特徴⁶⁾</p>	<p>一次医療：地域の保健センター 二次医療：国公立病院、私立病院 三次医療：国立専門病院等</p> <p>多い疾患として、感染性胃腸炎（細菌、ウイルス、原虫を含む寄生虫）がある。また、風邪、上気道炎やデング熱も多い。デング熱は、デングウイルスに感染したヤブカ（ネッタイシマカやヒトスジシマカ等）に吸血されることで感染する。通常は後遺症なく回復するが、一部の患者で皮膚粘膜からの出血、肝腫脹、血圧低下等を伴う、重篤なデング出血熱となる。</p>
<p>12. 教育制度^{13), 1)}</p>	<p>小学校： 6年（義務教育） 中学校： 3年（義務教育） 高等学校：2年 普通高校 3年 技術高校（看護の場合、准看護師を取得可能である） 大学： 5年（医学部の場合8年）</p> <p>15歳以上の国民の識字率は89.1%（男性91.3%、女性87.3%）である（2019）¹⁾。 貧困による児童労働の問題もある。</p>
<p>13. その他の特徴</p>	

14. 出典	<p>1) World-factbook. Available from: https://www.cia.gov/the-world-factbook/countries/el-salvador/. Accessed 14th February 2023.</p> <p>2) UNICEF世界子ども白書2021. Available from: https://www.unicef.or.jp/sowc/data.html. Accessed 5th January 2023. (教育機関の未登録率から逆算)</p> <p>3) WHOデータベース. Available from: https://platform.who.int/mortality/countries/country-details/MDB/el-salvador.2023.2.10</p> <p>4) 外務省エルサルバドル基礎データ. Available from: https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/elsalvador/data.html. 2023.1.05</p> <p>5) コトバンク. Available from: https://kotobank.jp/word/エルサルバドル-37698. 2023.2.11</p> <p>6) 外務省. 世界の医療事情. Available from: https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/cs_ame/elsalvad.html.. Accessed 5th January 2023.</p> <p>7) 法務省. 在留外国人統計. Available from: https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00028.html. Accessed 5th January 2023.</p> <p>8) 在エルサルバドル日本大使館 .エルサルバドル共和国概観. Available from: https://www.sv.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00190.html Accessed 5th January 2023.</p> <p>9) UNICEF Country Office Annual Report 2019 - El Salvador. Available from: https://www.unicef.org/reports/country-regional-divisional-annual-reports-2019/el-salvador. Accessed 5th January 2023.</p> <p>10) Gustavo Silva. Remedios caseros de las abuelas salvadoreñas. Available from: https://elsalvadorgram.com/2017/10/remedios-caceros-de-las-abuelas-salvadorenas/. Accessed 10th February 2023.</p> <p>11) Available from: https://diarioelsalvador.com/plantas-medicinales-una-alternativa-para-la-poblacion/9863/ . Accessed 10th February 2023.</p> <p>12) PACIFIC PRIME Simlifying Insurance. El Salvador Health Insurance. Available from: https://www.pacificprime.com/country/americas/el-salvador-health-insurance-pacific-prime-international/. Accessed 10th February 2023.</p> <p>13) 鈴木賀映子. ラテンアメリカの教育政策－エルサルバドル共和国におけるEDUCOプログラムの導入と展開－. 早稲田大学大学院教育学研究科紀要別冊. 2010;17(2):79-87.</p>
--------	---

作成者 ; 藤原美智子 (鳥取看護大学)

承認日 : 2023年2月24日